

横浜校舎学生スタッフ活動報告

2008年度、横浜学生スタッフは新スタッフ16名を迎え、総勢25名で活動おこなってきた。学生にボランティアを身近に感じてもらえるようにするために、新入生にボランティアサークルを知ってもらう「ボランティア系サークル合同説明会」の実施や、ボランティアの魅力を伝える「ボランティアセンター通信」の発行をおこなった(表1参照)。学生スタッフお勧めボランティアや、ボランティアを体験した感想を伝える「みんなのあしあと」は、学生の視点でボランティア情報を紹介することで、より立ち寄りやすいボランティアセンターにするためにおこなった。掲示版の装飾や情報の書き方を工夫し、見やすく分かりやすい情報の提供を心掛けた。ボランティアセンターに訪れた多くの人が見てくれたので、今後も常に新しい情報を掲示できるようにしていきたい。12月には横浜学生スタッフのホームページを開設し、学生スタッフの活動を学内外に伝えることもはじめた。昼休みにおこなっている学生スタッフがボランティア相談にのるコーディネート活動は、より自信を持って行えるように、ボランティアファイル更新をセンターの職員と一緒にこない技能の向上を目指した(表2参照)。その結果、大学周辺のボランティア先を記載した地図を作成したり、積極的に声かけをおこなったりという工夫が出来るようになってきたと思う。しかし、まだ実践に結びつけられないスタッフも多い。自分の得意分野をつくっておく、相談に来た学生にすぐ対応するという行動を、学生スタッフの誰もが出来るようにするのが今後の課題だ。

今年度は、学生スタッフ自身がまずはボランティア活動の経験を積もうと、栄区にある荒井沢緑営塾の農園での農作業体験、倉田小学校のはまっ子スクールでの放課後支援や下倉田地域ケアプラザでの障がい児余暇支援等、これまで明学生とつながりがあった活動先でのボランティアに参加した。学生スタッフの中には、これまでボランティアをしたことのなかった人もいたのだが、ボランティアを身をもって知り、自分の中でのボランティア観が出来たことで、スタッフとしての活動に強い意欲を持つきっかけになった。また、ボランティア経験のあったスタッフも様々な分野の活動にふれることや、地域の方と関わることで、改めて人と人との関わり合うボランティアのすばらしさを感じた。その経験をいかして計画されたのが、「Let's Try! ボランティア」である(表1参照)。荒井沢緑栄塾や下倉田地域ケアプラザと連絡をとりあい学生スタッフと一緒にボランティアに参加できる機会をつくったり、手話講座を企画したりしてボランティアへの参加を促した。スタッフの経験不足により広報が十分にできなかったことなどから計画していたことが実現できず、企画実施の難しさ知ることとなったが、ボランティアは敷居の高いものではないと感じてもらえたり、この活動に参加したことから学生が定期的に農園を訪れるようになったりしており、企画の目的である、ボランティアを始めるきっかけづくりをおこなうことは達成することができた。

このように学生にボランティアを身近に感じてもらおう、という活動方針のもと一年間活動してきた

今後の活動方針

これまでの活動を踏まえて、2008年12月より今後の学生スタッフの活動の方針を徹底的に話し合うミーティングをおこなっている。その結果、これまでの活動に加えて、学生スタッフ自らが地域を拠点に活動することにより、学生スタッフが「明学生と地域との架け橋になる」という目標を持って活動をおこなっていきたいということになった。昨年末から関わり始めた「戸塚区民市」や「パン工房 Ange」との交流会など（表3参照）に私たち学生スタッフが今まで以上に積極的に参加していくことで、地域の方々にとってより明学生が身近に感じられる存在になっていくと思う。また、学生スタッフが他の明学生に地域イベントへの参加を呼び掛けていくことで、「明学生と地域との交流が拡大し、戸塚地域が活性化される」と私たちは考えている。そのためには「Action（まずは行動!）」というスローガンを持ち活動を進めていきたい。

そして、「地域と明学生との架け橋」という目標を実現し、地域の方々と明学生との間に信頼できる関係が確立された後には、私たち明学生が「地域密着型イベント」を企画・運営できるように取り組んでいきたい。私たちが考えている最終地点である「明学生と地域との架け橋」という目標に向かって Action の精神を忘れずに、私たちボランティアセンター横浜学生スタッフは活動を進めていく。

表3 <今後の活動計画>

	目的	現在の活動	今後の展開
パン工房 「Ange」	明学から数分という場所に位置しているため、身近にお互いを感じていけるような交流を実現する。	パン作りのお手伝いに行っている。また、「Ange」の方々と共に大学でパン販売、交流会など実施している。	「Ange」の方々と共に行うイベントなどの企画し、より明学生との交流の場を増やしていく。
戸塚区民市	私たちが通っている戸塚の区民の方々とも明学生の交流の場を増やし、学生にも積極的に戸塚区活性化に参加してもらおう。	毎月、戸塚区内で行われる「区民市」にスタッフとして参加。	戸塚区民市に積極的に参加していく。
戸塚高校出張 ボラセン	学生スタッフがおこなっているボランティア活動を紹介することで、ボランティアを身近に感じてもらう、また参加を促す。	戸塚高校へ赴いて、学生スタッフがおこなっている戸塚地域の活動紹介や大学紹介をおこなった。	ボランティアを紹介するだけでなく、高校生と一緒に参加できるように企画していく。

(横浜学生スタッフチーフ 2年 鈴木彩 1年 橋本貴広)